



### 卒業式を迎えるみなさんへ

小学部 12名、中学部 13名、高等部 26名のみなさん、御卒業おめでとうございます。

小学部のみなさんは、日々の学びの中で葛藤を乗り越え、友達とのつながりを深めながら成長してきました。中学部を卒業するみなさんは、義務教育を終えるにあたり、自ら進路を選び取りました。全員が高等部入学者選考に挑戦した経験は、これからの力になることでしょう。4月からの新しいステージで、さらなる成長を期待しています。

高等部のみなさんは、長い学校生活に一区切りをつけ、いよいよ社会へと歩み出します。先に社会に出た仲間も、それぞれの場所で頑張っていることと思います。

3学期の始業式で次の言葉を紹介しました。

「最大の危機は、目標が高すぎて達成できないことではない。目標が低すぎて、その目標を達成してしまうことである。」(ミケランジェロ)

高い目標には壁がつきものですが、それを避けていては成長にはつながりません。新しい場所では、わからないことや思いどおりにいかないこともあるでしょう。そんなときこそ「まだ学んでいる」と思える自分であることが大切だと思います。一歩ずつ進む人は、いつでも未来を生きています。みなさんのこれからの人生が、問いと発見に満ちた豊かな時間になることを願っています。

ありのままにいられ、互いの違いを尊重し合える社会。どうか、あなたが望む社会を目指して歩み続けてください。人生は一度きり。主役はあなたです。校舎が変わっても、向日が丘支援学校はいつまでもみなさんの母校です。ずっと、ずっと応援しています。

校長 飯田 英美子

### 生徒会選挙

次年度の生徒会本部役員の内候補を募集したところ、4名の生徒がそれぞれ公約を掲げて立候補しました。朝の挨拶運動等でアピールをして見事全員当選することができました。4月からの生徒達の活躍を今から楽しみにしています。



### 現場実習

現場実習は、自分が身に付けている力を確認し、働くということや卒業後の生活について体感し、将来に向けて考えるきっかけとなる取組です。普段と違う場所で発揮できる力は「身に付いている」と言えますし、更に伸ばしていける力です。

また、新たな自分の姿を発見できる機会でもあります。日々の学校生活でも、実習先でも、生活の主体者として自信をもって取り組み、卒業後の生活に向けて力を伸ばしてほしいと願います。

現場実習に御協力いただいている福祉事業所・企業等の皆様、ありがとうございます。引き続き、よろしく願いいたします。

